

事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	かこがわ 加古川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	こうべ 神戸市ほか 24 市町
事業実施期間	R4 年度～R8 年度（5 年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県南東部に位置する阪神・東播磨・丹波・淡路地域の 21 市 4 町で、県土総面積の 46%を占めている。</p> <p>本地区の森林面積は 202 千 ha、対象民有林は 196 千 ha（森林全体の 97%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は 50 千 ha（人工林率 26%）となっており、県平均の人工林率 43%を下回っている。</p> <p>人工林の齢級別構成は区齢級以上のスギ・ヒノキ林等の面積が 87%を占めており、成熟期を迎えた人工林について資源循環型林業の実施により健全な森林を育成するとともに、合わせて二酸化炭素の吸収源や生物多様性の保全等の公益的機能を高度に発揮する多様な森林を育成することが必要な地区となっている。</p> <p>しかしながら、林業経営の収益性の悪化やシカ等の獣害の深刻化により、間伐等の森林整備の遅れや主伐再造林の未実施による林業サイクルの停滞が起こるなど、森林の有する多様な機能の低下に伴い近年の異常気象による山地災害の発生等が危惧されている。</p> <p>このため、森林整備の基盤となる路網整備や森林整備の担い手となる林業事業体の育成と併せて、森林の有する水源涵養機能等の多面的機能の維持・増進を図るため加古川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、本事業において効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,634ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：496m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設</p> <p>総事業費：1,650,207 千円（税抜き 1,500,188 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.44</p> <p style="padding-left: 40px;">（総便益（B）=29,392,341 千円、総費用（C）=6,627,177 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：近年の集中豪雨等による山地災害の発生状況から、森林の多面的機能の維持・向上を目的とした間伐等の適切な森林整備の必要性は高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐等の適切な森林整備は、森林の多面的機能の確保及び原木の安定供給につながり、有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

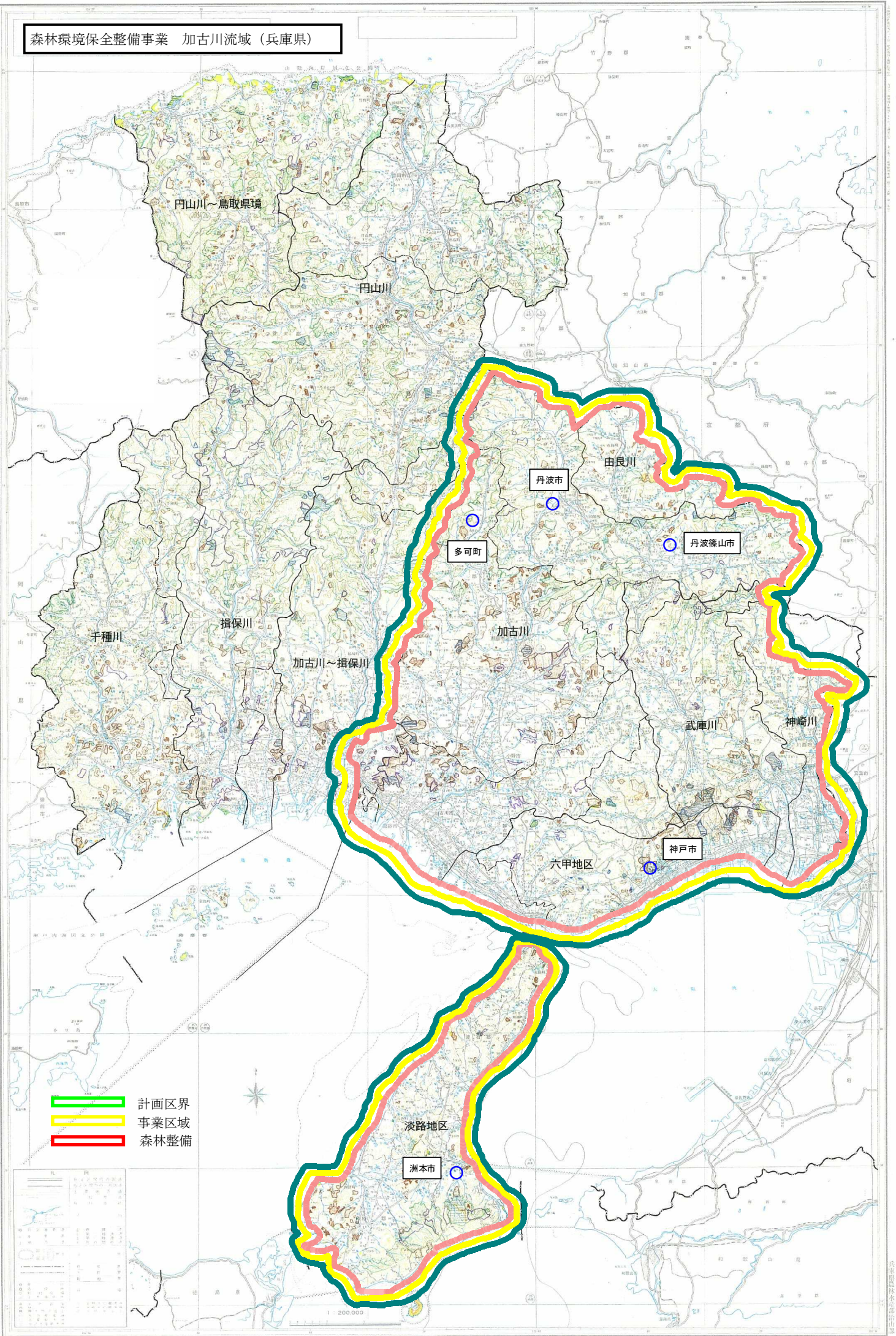
都道府県名：兵庫県

地域(地区)名：^{かがわ}加古川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,462,189	
	流域貯水便益	1,485,658	
	水質浄化便益	6,025,646	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,700,200	
環境保全便益	炭素固定便益	7,523,717	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,027,489	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	163,410	
維持管理費縮減便益		4,032	
総 便 益 (B)		29,392,341	
総 費 用 (C)		6,627,177	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,392,341}{6,627,177} = 4.44$		

森林環境保全整備事業 加古川流域（兵庫県）



- 計画区界
- 事業区域
- 森林整備

